

地域のメディアがあなたの命を救う ～防災とメディア 最前線を探る～

南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率が70%～80%に引き上げられ、被害を如何にして防ぐか、あるいは軽減するかはすべての和歌山県民、自治体関係者にとって喫緊の課題になっています。災害情報を適切なタイミング、方法で住民に届け、対応行動を促すことはハード的な整備以上に重要です。地域に特化した情報伝達は地方紙や地方局、コミュニティFM、臨時災害放送局などがその機能を果たさねばなりません。地域での情報共有の問題、あるべき姿などについてざっくばらんに語り合ってください。

参加
無料

日時 2019年2月1日(金) 13:30～17:00 (13:00開場)
会場 和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー 研修室2
(和歌山県田辺市新庄町 3353-9)
定員 80名

■基調講演1

「東日本大震災と福島県富岡町の臨時災害放送局『おだがいさまFM』」

講師 吉田 恵子氏：社会福祉法人富岡町社会福祉協議会 事務局次長

■基調講演2

「『南海トラフ地震に関連する情報』と最新状況」

講師 山田 尚幸氏：和歌山地方気象台 台長

■トークセッション

「防災とメディア 最前線を探る」

コーディネータ

伊藤 宏氏：和歌山信愛女子短期大学 教授

パネリスト

吉田 恵子氏：社会福祉法人富岡町社会福祉協議会 事務局次長

山田 尚幸氏：和歌山地方気象台 台長

仲山 友章氏：日本放送協会和歌山放送局 局長

麻生幸次郎氏：毎日新聞和歌山支局 支局長

主催 和歌山県情報化推進協議会 (WIDA)

後援 総務省近畿総合通信局、和歌山県

講師のご紹介



吉田 恵子氏

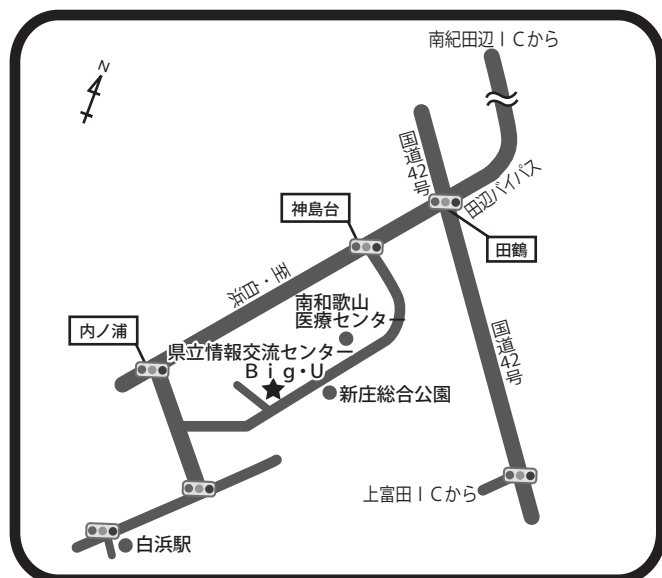
昭和63年 社会福祉法人富岡町社会福祉協議会入職
 平成23年3月11日東日本大震災発生
 平成23年3月12日東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活が始まる。
 ・被災者支援事業 ・災害ボランティアセンター運営事業
 ・高齢者等サポート拠点「おだがいさまセンター」事業
 ・富岡町臨時災害FM「おだがいさまFM」を設立、平成29年3月30日閉局までパーソナリティを務める。
 現在は、福島県双葉郡富岡町帰還。



山田 尚幸氏

昭和35年 北海道釧路市生まれ。
 昭和59年4月 気象庁採用。気象庁地震火山部各課、科学技術庁（現文部科学省）、国土交通省にて地震・津波・火山や防災に係る業務を歴任。「平成23年東北地方太平洋沖地震」のときは、本庁地震火山部にて官邸への解説資料の作成、部外対応などを担当した。平成24年から仙台管区気象台地震火山課長として、東北地方太平洋沖地震の余震等の対応にあたる。その後、本庁の課長補佐を経て、平成29年3月、和歌山地方気象台長として赴任。現在、東京から和歌山に単身赴任中。

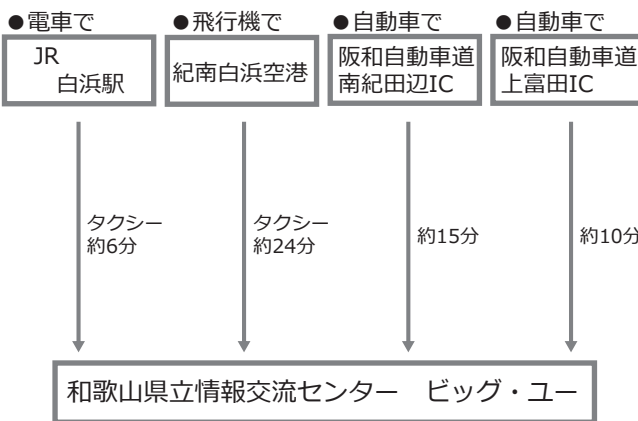
会場へのアクセス



和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー

(和歌山県田辺市新庄町3353-9)

TEL:0739-26-4111)



※時間は目安です。

参加申込書

お申込み方法

下欄に必要事項をご記入のうえFAXでお申込みいただくか、下欄の内容を明記のうえ、E-mailでお申込みください。

締め切り

2019年1月25日（金）12：00まで

お申込み先

FAX:073-428-2688 E-mail: info@wida.jp

ふりがな お名前	企業・団体名 (個人の方はお住まいの市町村名)	電話番号

【お問合せ先】和歌山県情報化推進協議会事務局 (NPO法人市民の力わかやま内) TEL:073-428-2688